

わかあゆ

誰もが居心地のよい、笑顔あふれる楽しい和良小

校長 太田 紀宏

授業日数は206日（6年は205日）で、平成29年度が修了しました。保護者及び地域の皆様のご理解・ご協力を得ながら、この一年間で子どもたちは、体も心も大きく成長しました。和良小ではじめて勤務する私にとって、日々成長し続ける子どもたちの姿は、新鮮で感動の毎日でした。

年度当初、子どもたちに「あいさつ」「掃除」「家庭学習」の3つを今年の和良小学校の宝物にしようという話をしました。1年経った今、子どもたちの姿を振り返ります。

<あいさつ>

校庭の端から校舎に向かっての元気のよいあいさつ。職員室の中の先生たちに向かっての気持ちのよいあいさつ。各学年の教室をまわってのさわやかなあいさつ。さらには、登下校の途中、遠く離れた人に向かっての大きな声でのあいさつ。この一年間で、あいさつは和良小学校の一番の宝物になったと感じています。計画委員会の1年間を通しての毎朝の地道なあいさつ運動やキャンペーン等による全校への働きかけが原動力となり、あいさつを宝物だと言えるまでに高めることができました。また、地域や保護者の方も登下校の時間に合わせて、外にでて子どもにあいさつをしてくださる方もおみえでした。心より感謝を申し上げます。これらのあいさつの取組が認められ、道徳教育奨励賞努力賞もいただきました。これを励みに来年度、さらに進んであいさつのできる子どもたちにしていきたいと思ひます。

<掃除>

スポンジだわしを片手に持ち、指先に力を込め床の黒ずみを一生懸命落とす子どもたち、ひざをついて黙々と教室や階段を雑巾掛けする子どもたち。床に落ちているゴミや細かな埃までほうきやモップで丁寧に取りきる子どもたち。自分の分担が終わると、自分で気付いて整理整頓をしたり、仲間の手伝いをしたりする子どもたち。「さしすせ掃除」を合言葉に、子どもたちは、「さっと、しずかに、すみずみまで、せいっぱい」掃除に取り組んでいます。誰一人楽をしようとする子はいません。自分の責任を果たす姿、美しくすることに喜びを感じる姿、誰かの役に立つことを意気を感じて動く姿。子どもたちの姿は実に立派です。

<家庭学習>

学校評価及び子どもたちの自己評価によると、概ねどの子も家庭学習を大切に、宿題を中心とした復習に取り組んでいます。ただし、取り組み期間とそうでない時の意識にまだまだ差があるようです。将来の夢の実現に向けて、勉強を大切にできる子どもたちであってほしいと願っています。

「家庭学習」はもちろんのこと、「あいさつ」「掃除」は家庭や地域でも実践できて本物だと思います。春休み中には家庭や地域で、継続して子どもたちにご指導いただけるとありがたいです。

今年度1年間の温かいご理解とご協力、ご支援に心より御礼申し上げます。来年度もよろしくお願ひします。



<朝のあいさつ運動>



<床磨きに精一杯打ち込む児童>

